

平成28年度

さいたま知っ得予算

～さいたま市の予算と財政状況～



さいたま市PRキャラクター

平成28年4月 さいたま市

もくじ

予算編

さいたま市のお金の使いみち(平成28年度予算)

- 予算って何? 1
- 予算はどうやって決めるの? 1
- 会計には種類があるの? 2
- 収入と支出の内訳は? 3
- さいたま市の予算を家計に例えると? 6
- どのような事業に取り組むの? 7

財政状況編

さいたま市のフトコロ事情(さいたま市の財政状況)

- 収入の状況は? 9
- 支出の状況は? 10
- 貯金の残高は? 11
- 市が借りているお金はいくらあるの? 12
- さいたま市のフトコロ事情は安心? 13
- 今後の財政見通し 13

さいたま市のお金の使い道(平成28年度予算)

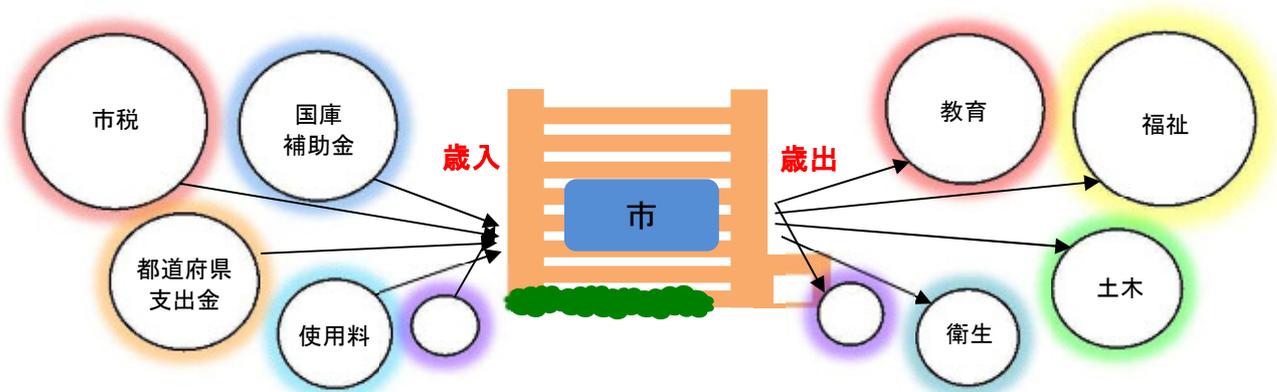
Q 予算って何？

A さいたま市の1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の見積もりです。



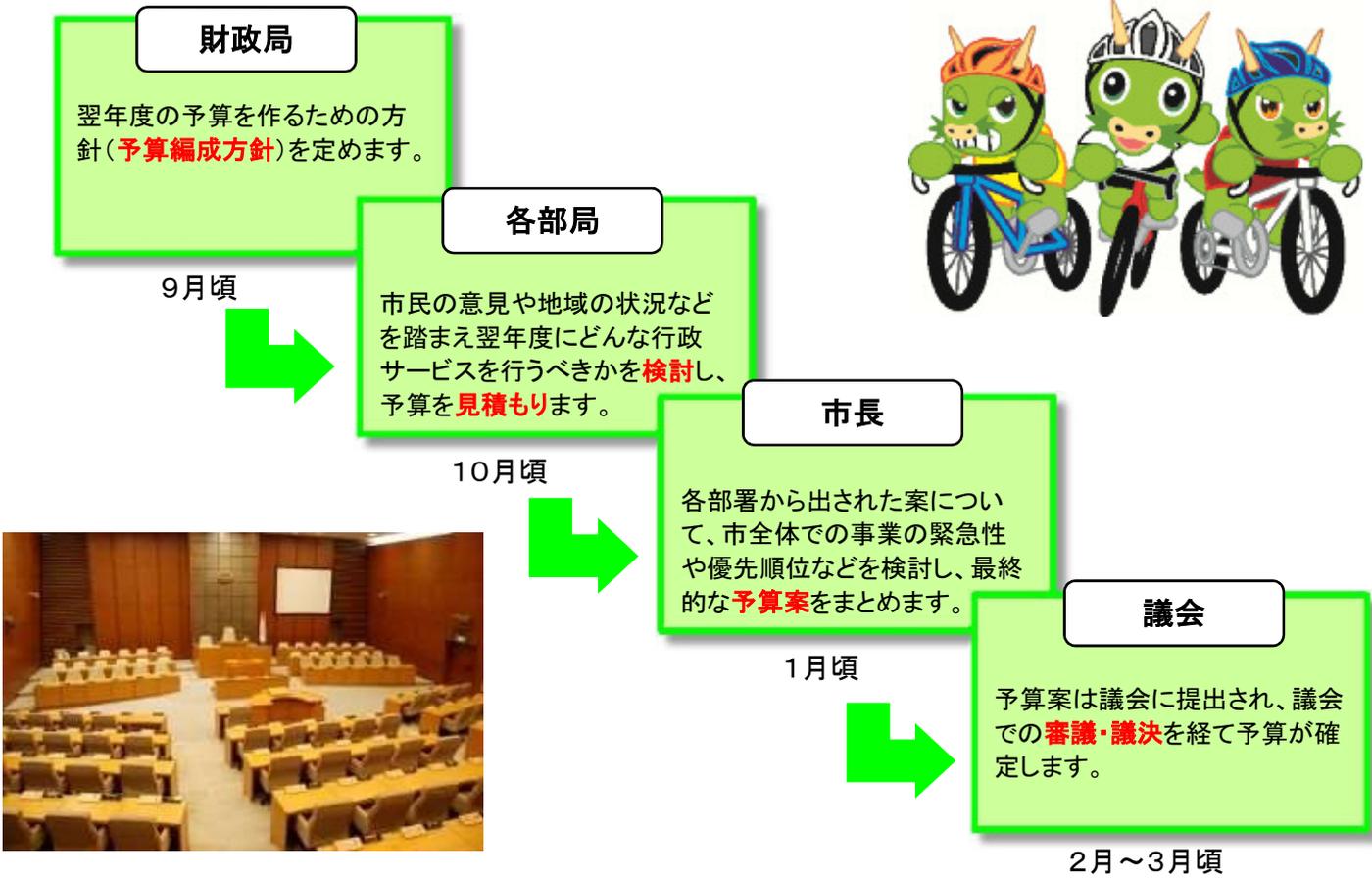
予算を見れば、この1年間、どのくらいの収入が見込めて、何にいくら使うのかが分かります。

私たちが納めている税金は、国、県、市の収入となり、さまざまな行政サービスに使われています。国や地方自治体は、新しい年度が始まる前に、あらかじめ税金などの収入と行政サービスに使う支出の金額を見積もって、事業の内容などを計画します。この見積もりが「予算」です。



Q 予算はどうやって決めるの？

A 市長が予算案を作り、議会の審議を経てきます。



Q 会計には種類があるの？

A 予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために、3種類の会計(一般会計、特別会計、企業会計)に区分しています。

一般会計

教育、福祉、医療や道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計で、主に市税で賄われています。
一般会計は1つしかありません。

福祉

教育

土木

など

当初予算額 (前年度)

4, 689億円 (4, 560億円)

対前年比 2. 8%増

特別会計

国民健康保険や介護保険のように、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別する必要がある事業の会計。さいたま市には15の会計があります。

国民健康保険

介護保険

都市開発

など

当初予算額 (前年度)

3, 294億円 (3, 233億円)

対前年比 1. 9%増

企業会計

民間企業と同じように、基本的には事業収益でまかなわれている会計。さいたま市には、水道事業、下水道事業、病院事業の3つの会計があります。

水道事業

下水道事業

病院事業

当初予算額 (前年度)

1, 153億円 (1, 215億円)

対前年比 5. 1%減

全会計合計

当初予算額 (前年度)

9, 136億円 (9, 008億円)

対前年比 1. 4%増

さいたま市始めて以来最大の規模です。



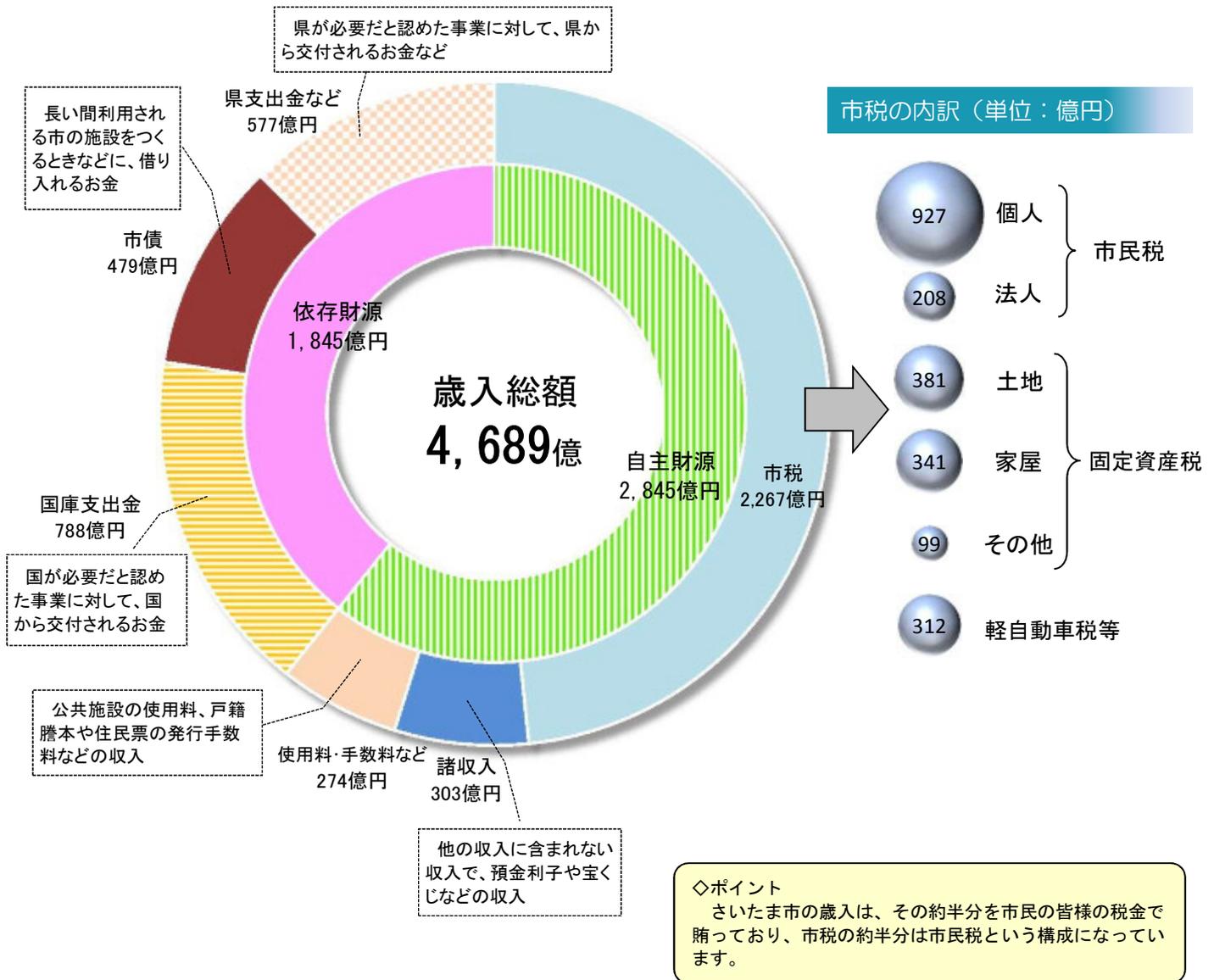
Q 収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？

A (1)一般会計の収入(歳入)

一般会計の収入(歳入)には、市税のほか、国や県から配られるお金や借入金(市債)など、さまざまなものがあります。これらの収入は、地方自治体が国や県に依存しないで自主的に収入できるかどうかで、「自主財源」と「依存財源」に分類することができます。

自主財源には、市税、使用料及び手数料などが、依存財源には、国庫支出金、市債、地方交付税などがあります。自主財源である市税などが多いほど、自主的な財政運営ができることになります。

H28 さいたま市歳入の内訳



※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

A (2) 一般会計の支出(歳出)

一般会計の支出(歳出)は、福祉・子育て、教育、商業振興など行政目的ごとの事業費を積み上げた「目的別歳出」と、人件費、扶助費、普通建設事業費など経費の性質ごとに分類した「性質別歳出」の2つの視点から見ることができます。

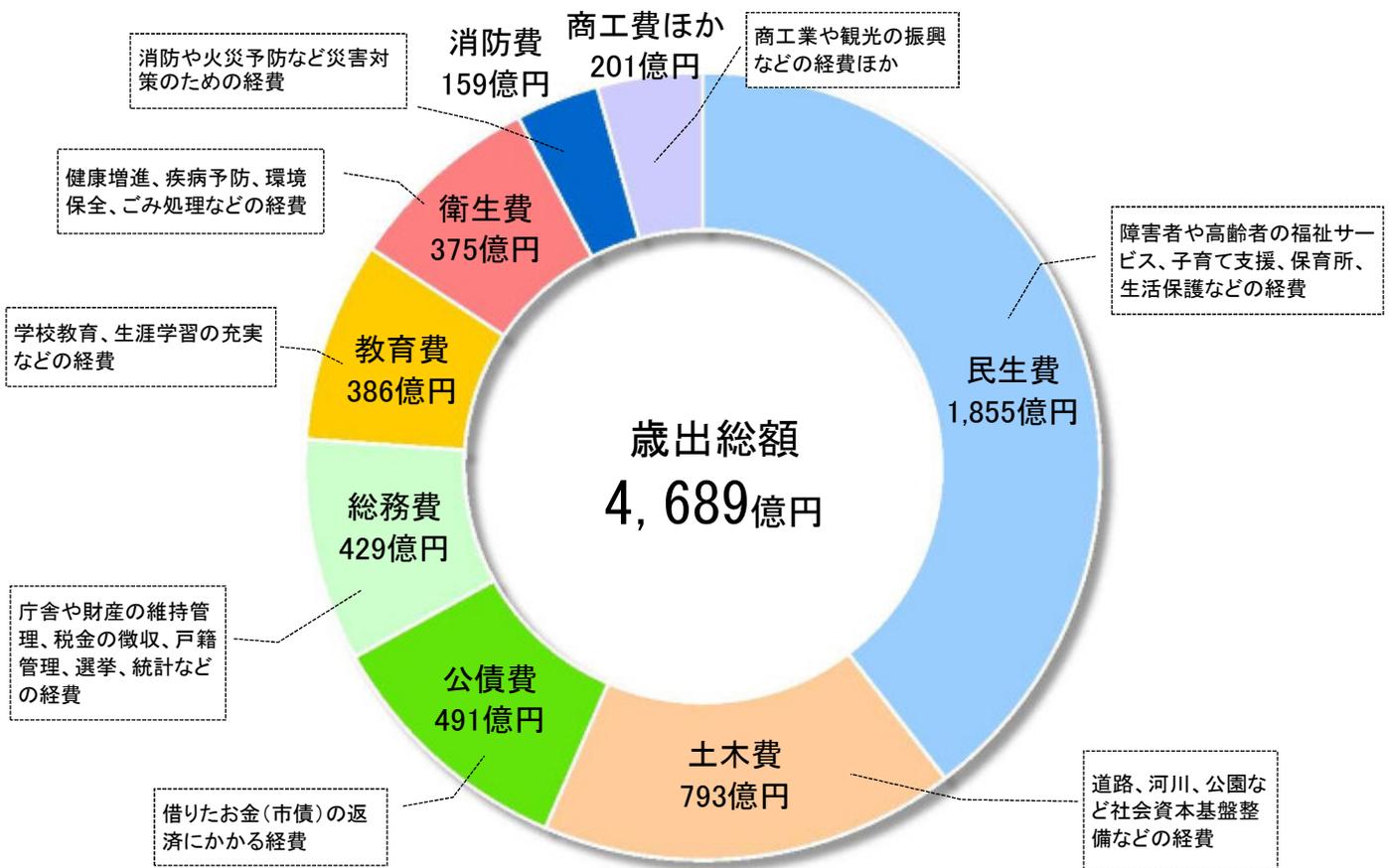


「教育費はどのくらいかかっているんだろう？」というのは目的別歳出、「人件費はどのくらいかかっているんだろう？」というのは性質別歳出を見れば分かるんだ。

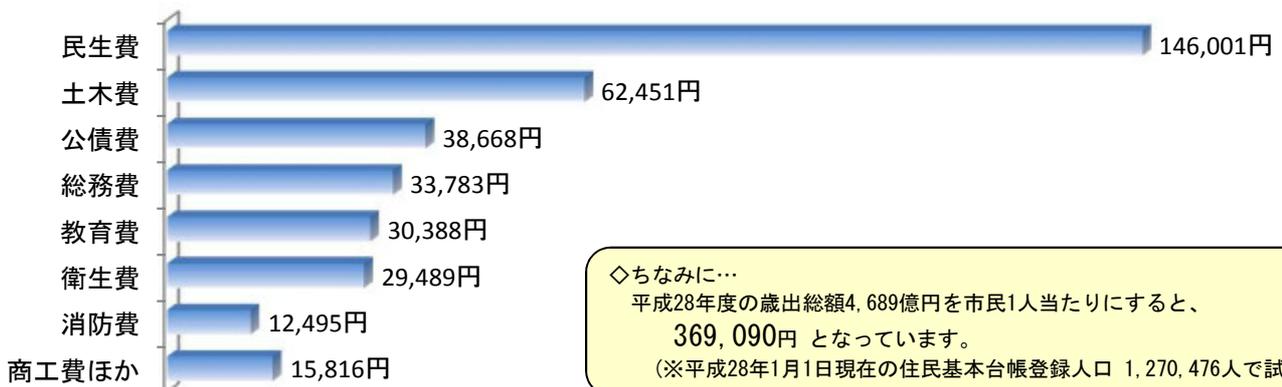
① 目的別歳出

支出の内訳について、福祉・子育て、教育、商業振興など行政目的ごとにどれだけ使うのかを定めています。

H28 さいたま市歳出（目的別）の内訳



市民一人当たりのH28 さいたま市歳出（目的別）の内訳



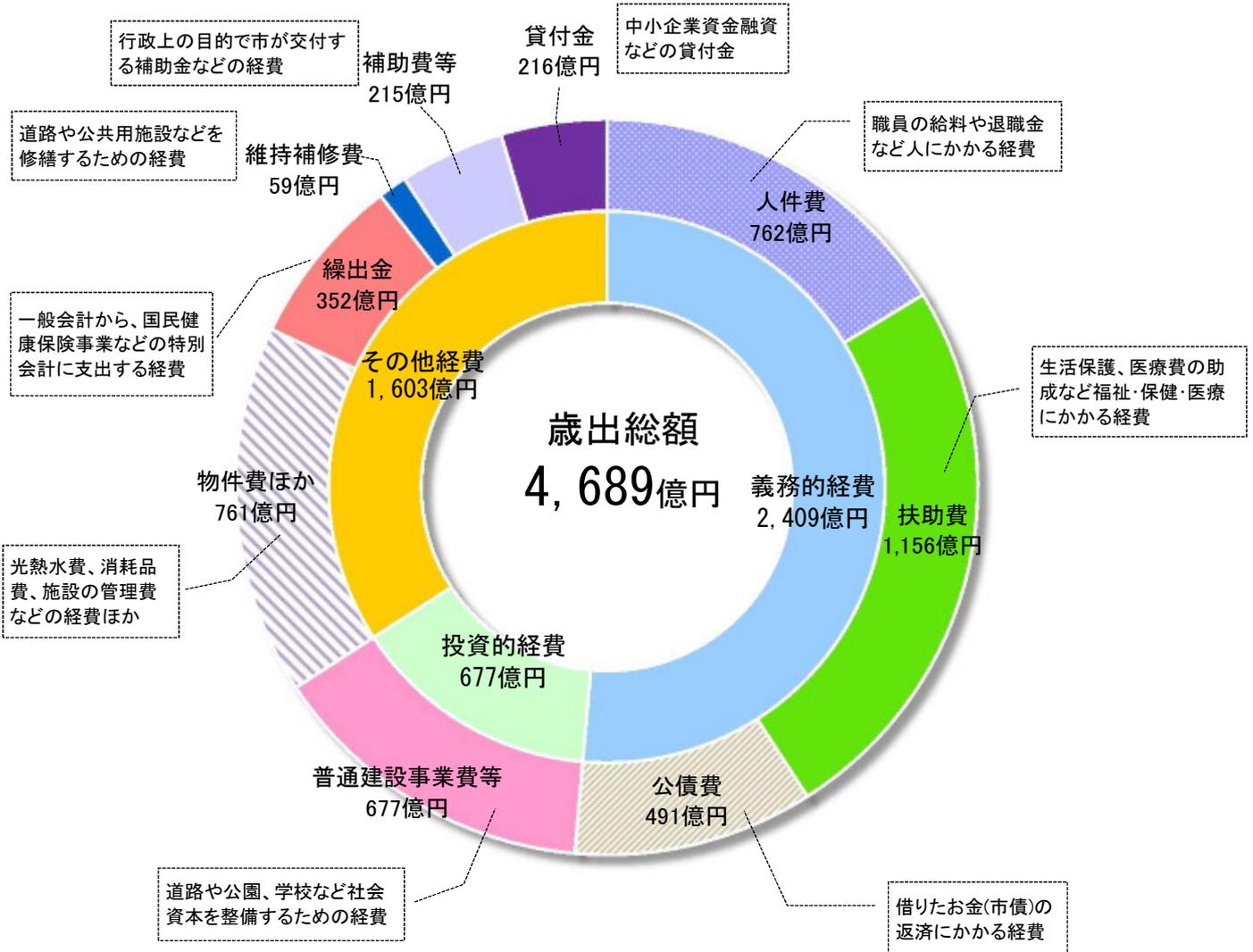
◇ちなみに…
平成28年度の歳出総額4,689億円を市民1人当たりになると、
369,090円 となっています。
(※平成28年1月1日現在の住民基本台帳登録人口 1,270,476人で試算)

②性質別歳出

支出の内訳は、人件費、扶助費、普通建設事業費など、経費の性質ごとにどれだけ使うのかも見る
ことができます。

このうち、人件費、扶助費、公債費の3つを合わせた経費を「義務的経費」(毎年必ず支出が必要と
なる固定的な経費)と呼び、道路、橋、公園、学校、公営住宅の建設など社会資本の整備に要する普通
建設事業費等の経費を「投資的経費」と呼んでいます。

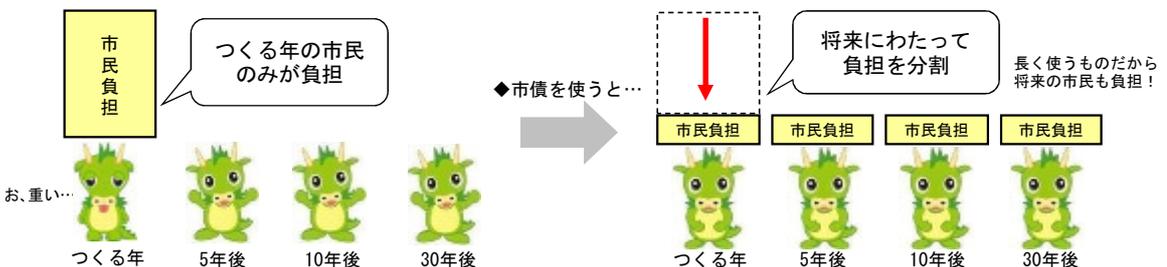
H28 さいたま市歳出（性質別）の内訳



ちょっと一息

Q どうしてお金を借りるの？

A 道路や学校などの施設は、つくる年だけでなく、将来にわたり次の世代の市民も使います。そのため、つくる年の市民だけに建設費を負担してもらうのではなく、次の世代の市民にも公平に負担してもらうため、借金をすることにより「分割払い」としています。



Q さいたま市の予算を家計に例えると？

A 市の予算は数字が大きすぎて実感がわかないかもしれません。そこで、さいたま市の一般会計予算の総額を、給与所得者の平均給与である415万円※（月収346,000円）の家計に置き換えてみました。

食費(人件費)、家族の医療費(子育て支援医療費など扶助費)、ローン返済(公債費)の3つは義務的経費とよばれ、一般家庭のエンゲル係数(家計における食費の占める割合)と同様、これが高いと家計に余裕がないことを意味しています。(平成28年度の義務的経費の占める割合は、51.4%です。)

※出典：国税庁ホームページ 平成26年分民間給与実態統計調査

さいたま市の家計簿（一ヶ月）

収入・支出項目	収入	支出
給料（市税、地方交付税 など）	268,000円	
パート収入（使用料・手数料 など）	33,000円	
預貯金の取り崩しなど（繰入金） 	10,000円	
家のリフォームをするためのローン（市債）	35,000円	
食費（人件費） 		56,000円
家族の医療費・保育料（扶助費） 		85,000円
ローン*の返済（公債費）		36,000円
光熱水費、衣料費など（物件費ほか） 		70,000円
子どもへの仕送り（繰出金）		26,000円
車の維持費（維持補修費） 		5,000円
貯金など（貸付金、積立金 など）		18,000円
家のリフォーム（普通建設事業費） 		50,000円
合 計	346,000円	346,000円

※ローン残高 … 394万円(平成28年度末一般会計市債残高見込み4,448億円を換算)

Q どのような事業に取り組むの？

A さいたま市では、市民満足度を高め、より多くの市民が住みやすいと感じる都市の実現に向けて、持続的発展と活力ある未来に“繋げる”予算として、次のような事業に取り組みます。

①次代を担う人材をはぐくむ「若い世代をアシスト」

特定教育・保育施設の整備【予算 34億1,080万円】

保育所等利用待機児童の解消を図るため、賃貸物件による保育所整備の補助を新たに拡充するなど、保育需要の高い地域において保育所等を整備し、定員を拡大します。



妊娠・出産包括支援センター整備事業【予算 1,222万円】

妊娠期から出産の前後に焦点を当てた「妊娠・出産包括支援センター」を各区保健センターに段階的に整備します。

グローバル・スタディ科推進事業【予算 3億7,683万円】

グローバル人材の育成を目標とした「グローバル・スタディ科」の全校実施に伴う、外国語指導助手等の人材の配置や教材等の配付を行います。



②市民一人ひとりが元気に活躍する「スマートウエルネスさいたま」

さいたま国際マラソン開催事業【予算 2億8,026万円】

市民マラソンにより健康増進を図るとともに、世界トップレベルの選手の走りを体感することで、市民のスポーツに対する意欲、関心を高め、「スポーツのまち さいたま」を国内外にアピールできる市民マラソンと国際女子マラソンを「さいたま国際マラソン」として同時開催します。



健康マイレージ事業【予算 1億3,533万円】

市民の継続的な健康づくりを支援するため、歩数や体組成計データを蓄積し、歩数等にに応じてポイントを付与する健康マイレージ制度を開始します。

高齢者生活支援体制整備事業【予算 5,626万円】

市内すべての日常生活圏域にコーディネーターを配置するなど、地域の実情に応じた高齢者に対する生活支援サービスを提供できる体制を構築します。



③新しい価値を創造し、革新（イノベーション）する「産業創出による経済活性化」

オリンピック・パラリンピック競技大会普及啓発事業【予算 1,500万円】

オリンピック・パラリンピック競技や各種スポーツの紹介及び体験、オリンピックやパラリンピアンとの交流等の場を提供する、スポーツイベントを開催します。



東日本連携・創生事業【予算 1,826万円】

東日本の広域的な連携による地方創生に向けた東日本連携・創生フォーラムの開催及び連携事業を実施します。

④自然と共生しながら、都市の機能を向上する「上質なくらしを実現できる都市」

環境未来都市推進事業【予算 5,761万円】

運輸部門の低炭素化と災害時の輸送手段確保のため、電気自動車(EV)に加え、燃料電池自動車(FCV)など、次世代自動車の普及を促進します。



アーバンデザインセンターみその運営【予算 2億9,367万円】

「アーバンデザインセンターみその(UDCMi)」を拠点に、美園地区を「市が目指す理想都市の縮図」とするため、公民十学による先進的な総合生活支援サービスの提供及び「スマートホーム・コミュニティ」のモデル街区を展開し、低炭素でエネルギーセキュリティの確保された「スマートシティさいたまモデル」の構築に向けた取組を実施します。

⑤みんなで安全を支える「安心減災都市」

流域貯留浸透事業【予算 1億6,362万円】

降雨が短時間で河川に集中し、浸水被害を起こす可能性が高まっているため、公共施設(小中学校・公園等)に降った雨を一時貯留、浸透させる施設を設置します。



水位情報システム構築事業【予算 1億7,770万円】

豪雨時における適切な水防活動に資するため水位情報を正確かつ迅速に収集する監視システムを構築します。

このほかにもさまざまな事業に取り組んでいきます。
また、現場の声を政策に反映するために、市政の最前線である各区役所からの提案事業にも取り組んでいきます。



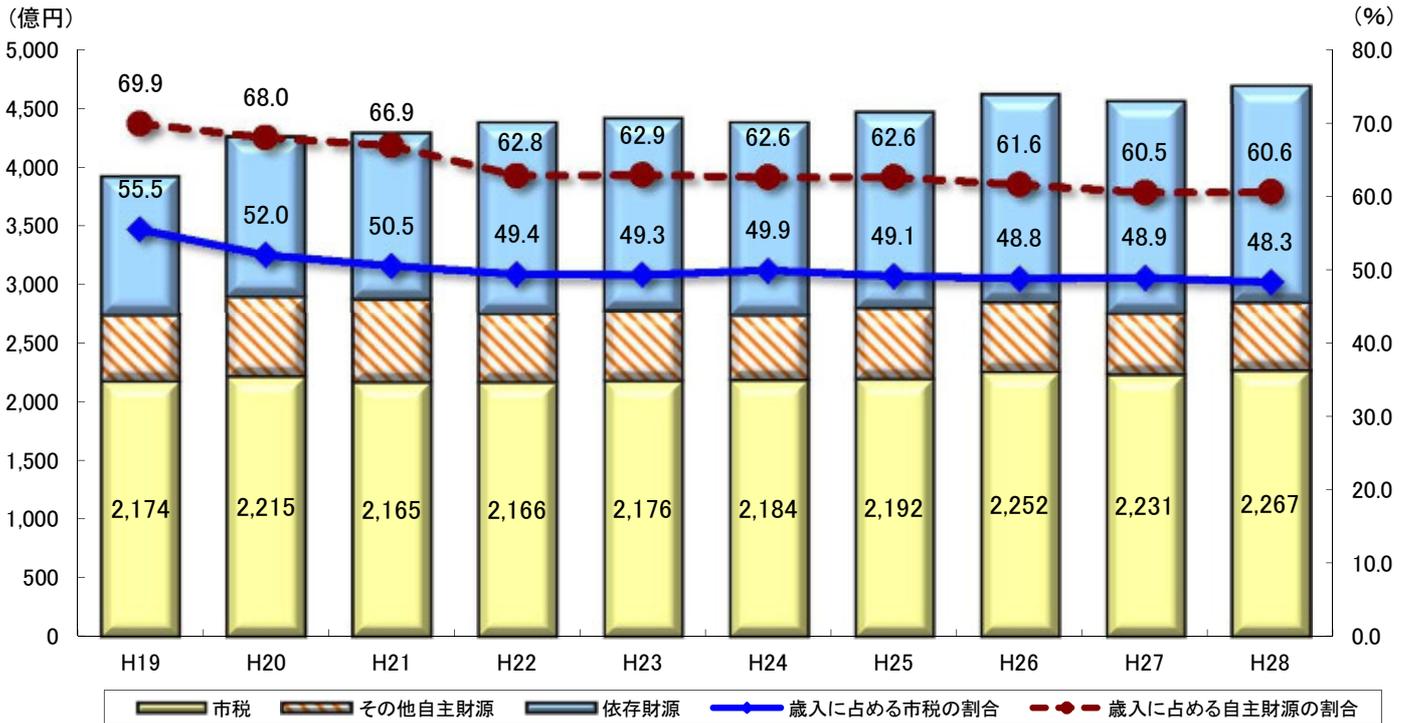
※平成28年度の主要な事業の概要及び予算の査定経過等については、市のホームページでも確認できます。
<http://www.city.saitama.jp/index.html> (トップページから、「市政情報」→「政策・財政」→「予算・決算」へとお進みください。)

さいたま市のフコロ事情(さいたま市の財政状況)

Q 収入の状況は？

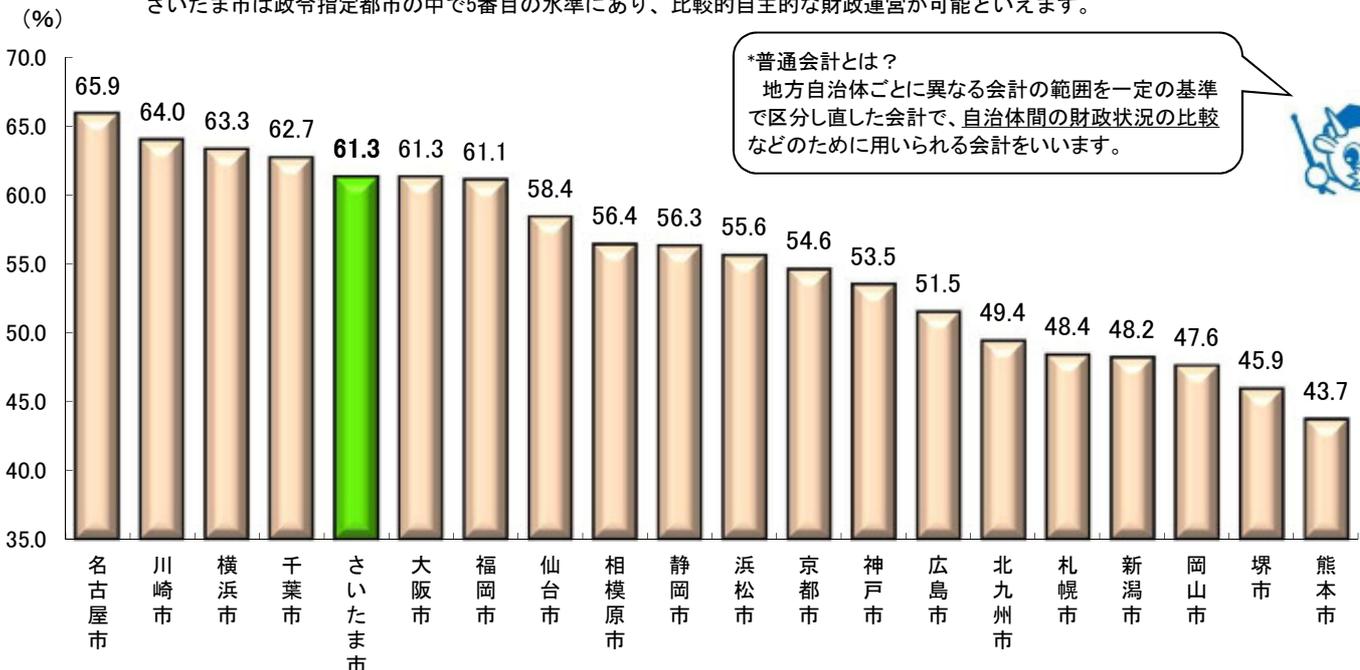
A さいたま市の収入(歳入)の約半分を占める市税収入は、景気の悪化の影響による平成21年度の減収以降、低調に推移していましたが、近年は、納税義務者数の増加や、景気の回復等に伴い持ち直して来ており、平成28年度の市税収入はさいたま市誕生後最高となる見込みです。

自主財源の推移(～H26:決算額 H27～:当初予算額)



政令指定都市の自主財源比率(歳入に占める自主財源の割合)の比較(H26:普通会計*)

さいたま市は政令指定都市の中で5番目の水準にあり、比較的自主的な財政運営が可能といえます。



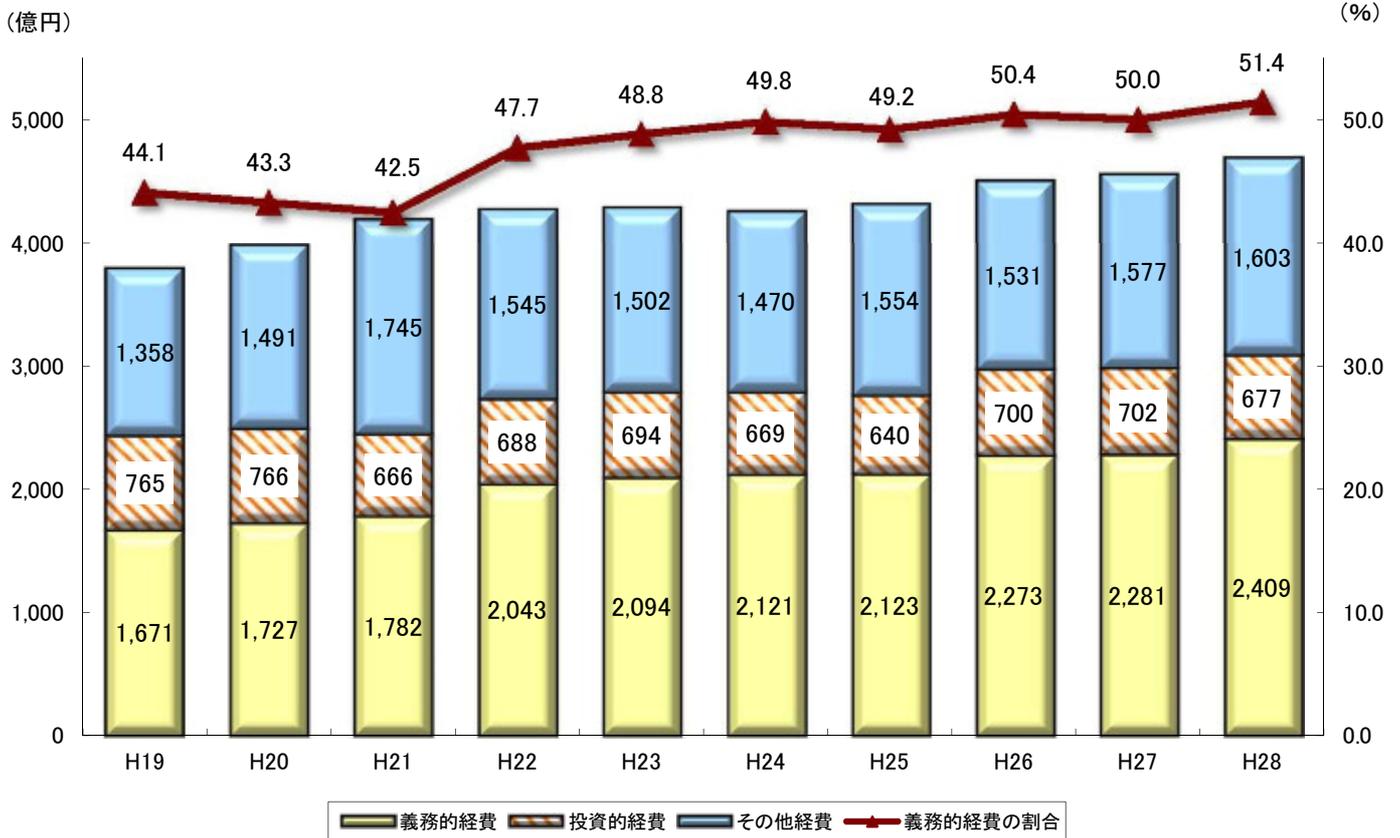
*普通会計とは？
地方自治体ごとに異なる会計の範囲を一定の基準で区分し直した会計で、自治体間の財政状況の比較などのために用いられる会計をいいます。



Q 支出の状況は？

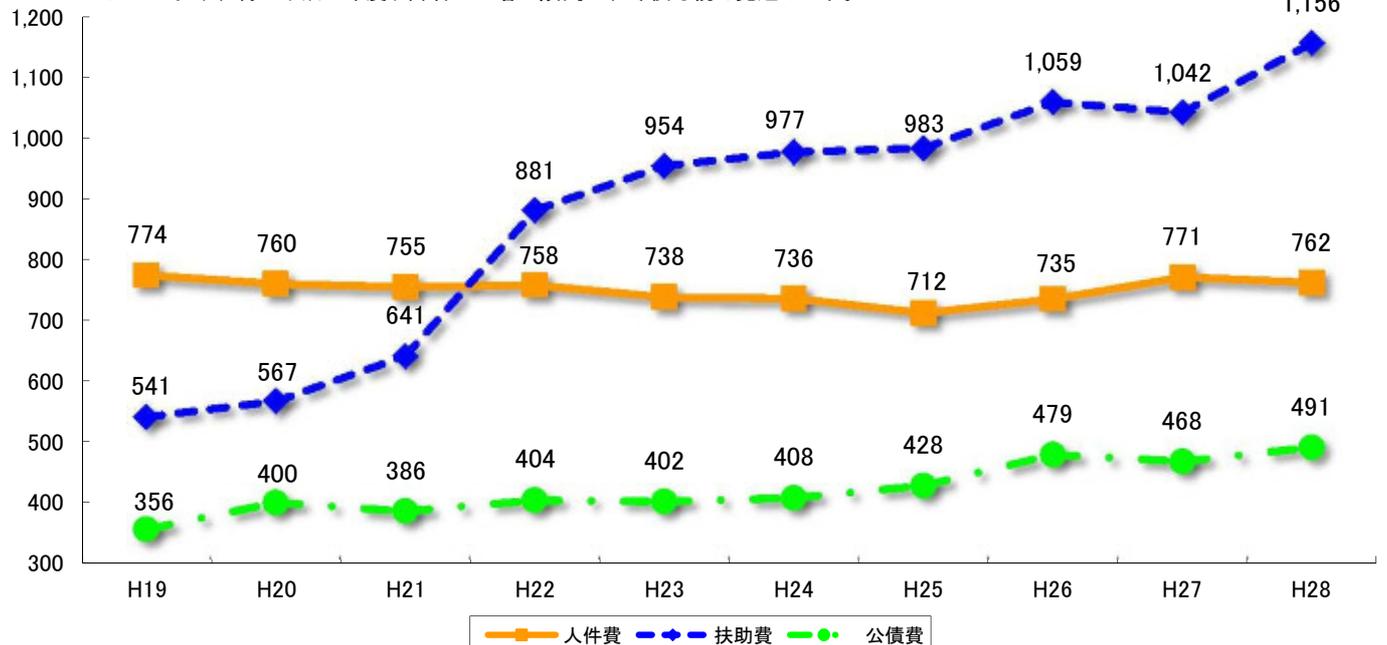
A 支出(歳出)のうち、人件費・扶助費・公債費の3つを合わせた義務的経費が年々増加しています。特に扶助費については、高齢化や待機児童対策のための保育施設の増設などの影響により大きく増えており、今後も増加傾向は続く見込みです。

歳出(性質別)の推移(～H26:決算額 H27～:当初予算額)



義務的経費の推移(～H26:決算額 H27～:当初予算額)

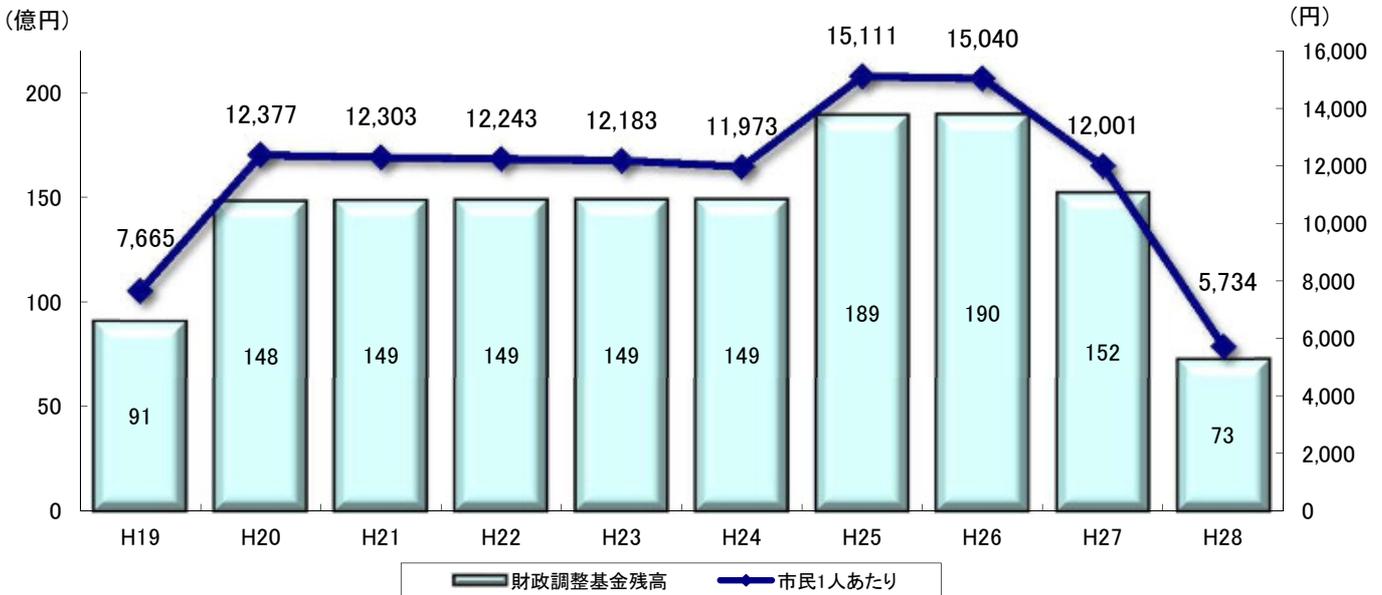
人件費及び公債費は、横ばいないし微増傾向で推移していますが、扶助費については年々増加しており、特に平成22年度以降著しい増加傾向は、今後も続く見込みです。



Q 貯金の残高は？

A 経済情勢の変動による財源不足や災害発生など緊急に支出が必要な場合に備え、貯金をしています。平成28年度末時点の貯金（財政調整基金）の残高見込みは、約73億円です。

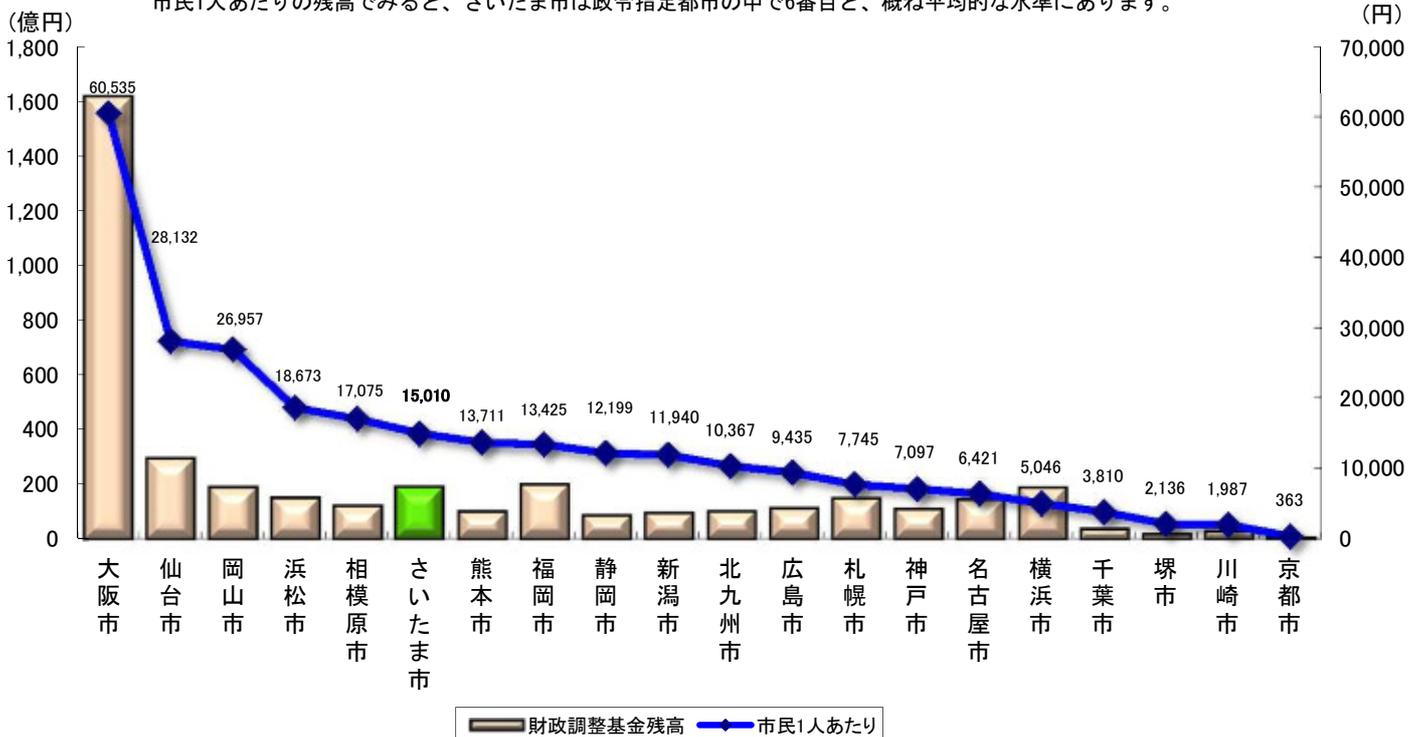
貯金（財政調整基金*）年度末残高の推移（～H26:決算額 H27、28は見込み）



※財政調整基金とは？
年度間の財源の不均衡などを調整するための基金です。財源に余裕のある場合や、決算剰余金が発生した場合に積み立てます。

政令指定都市の財政調整基金残高の比較（H26:普通会計）

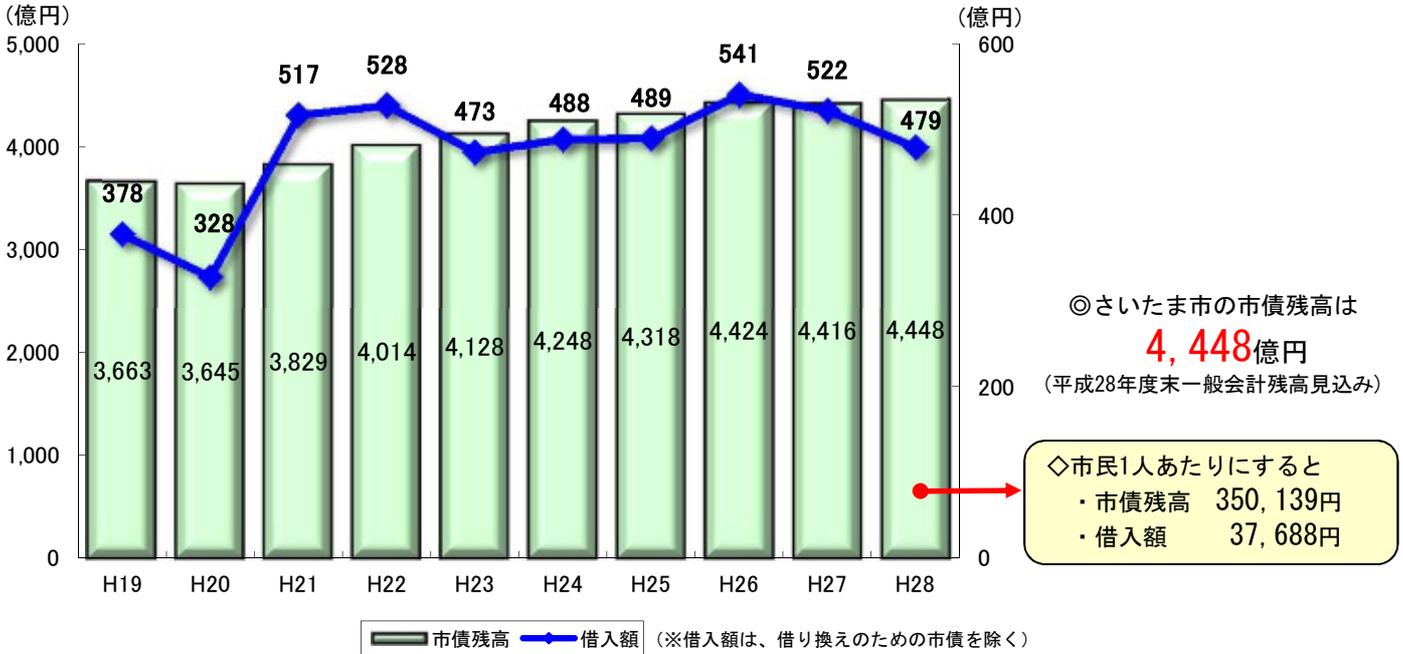
市民1人あたりの残高で見ると、さいたま市は政令指定都市の中で6番目と、概ね平均的な水準にあります。



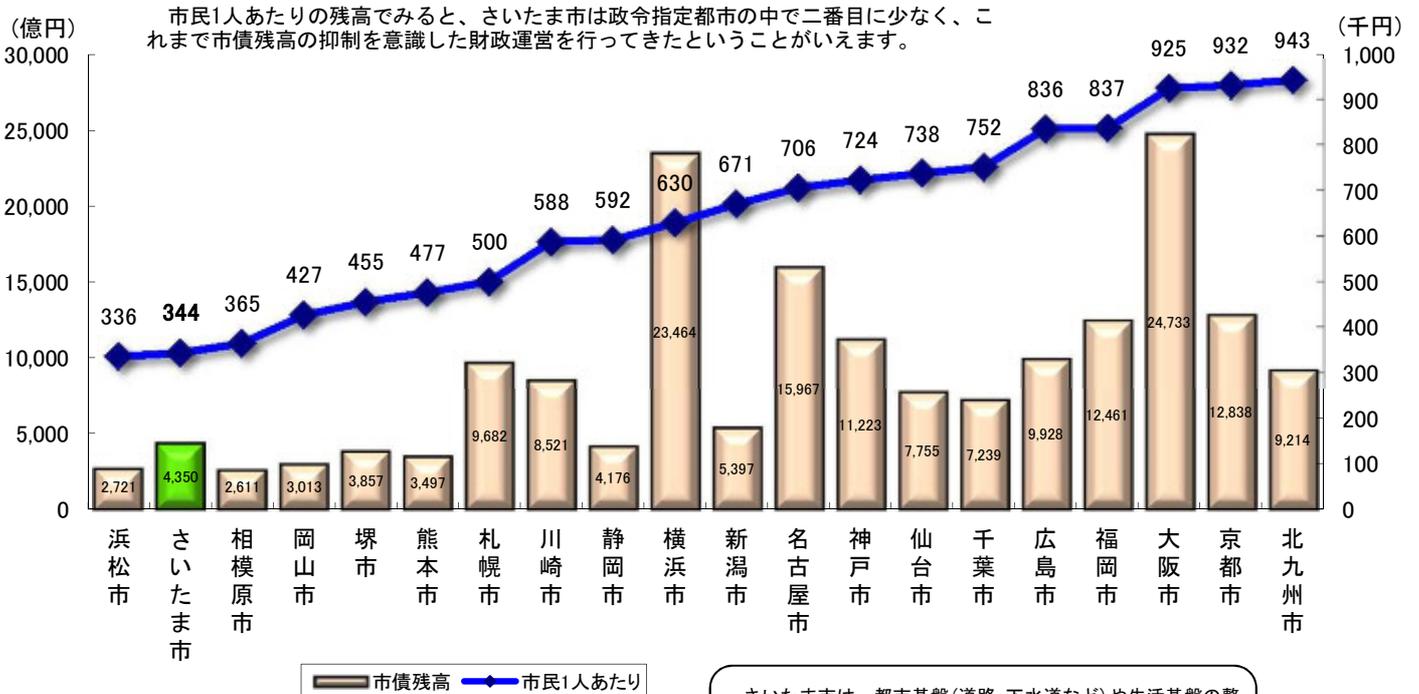
Q 市が借りているお金はいくらあるの？

A さいたま市が借りているお金は4,448億円（市民1人あたりにすると350,139円）となっています。

市債残高及び借入額の推移（～H26:決算額 H27、28は見込み）



政令指定都市の市債残高の比較（H26:普通会計）



Q さいたま市のフトコロ事情は安心？

A 平成19年6月に施行した「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」による、地方自治体の財政状況を客観的な指標でチェックする基準によりますと、さいたま市は、将来世代への責任を果たせる健全な財政運営の維持を図る取組をしてきたことにより、平成26年度決算に基づいて算出した財政健全化指標では、すべて国が定めた基準をクリアしており、健全であるといえます。

＜平成26年度決算に基づく財政健全化指標＞

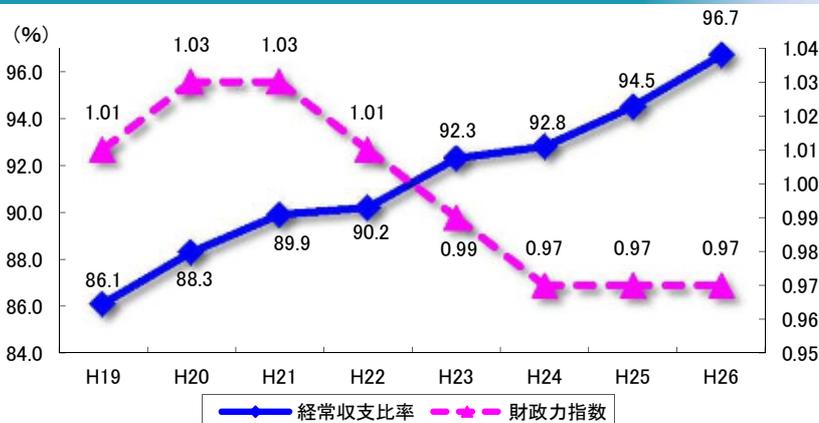
指標		解説	さいたま市	早期健全化基準※1	財政再生基準※2
健全化判断比率	実質赤字比率	財政規模に対する一般会計等の赤字の割合	- (赤字なし)	11.25%	20%
	連結実質赤字比率	財政規模に対する全会計の赤字の割合	- (赤字なし)	16.25%	30%
	実質公債費比率	財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額等の割合	5.2% (政令市中2位)	25%	35%
	将来負担比率	財政規模に対する将来市が支払う借入金返済額等の割合	26.9% (政令市中3位)	400%	
資金不足比率		公営企業ごとの事業規模に対する資金不足額の割合	-	20%	

※1 この基準以上となった場合、自主的な改善努力を図るため、財政健全化計画を策定する。

※2 この基準以上となった場合、国の関与による確実な再生を図るため、財政再生計画を策定する。

＜比率の結果＞
どちらも低い水準で健全です。

経常収支比率と財政力指数の推移（～H26:普通会計）



経常収支比率

(市税などの継続的に見込める収入が、毎年生じる経常的な支出に充てられている割合)
96.7% (政令市20市中**10位**)

財政力指数

(標準的な行政を行うためのお金を自ら賄える割合)
0.97 (政令市20市中**3位**)

＜比率・指数の結果＞
どちらも政令市中の比較では、上位から中位の水準にあるものの、年々指標は悪化してきていることから、今後の動向に注意する必要があります。

今後の財政見通し ～より安定的な財政へ向けて～

これまでさいたま市は、歳出削減への積極的な取組や、安定した市税収入を確保することなどにより、他市に比べ堅実な財政運営を行ってきました。

しかしながら、個人市民税では転入等により納税義務者の増、固定資産税では家屋の新増改築等により増収が見込まれるものの、支出では福祉や医療など義務的な経費が増加傾向にあります。



今後も安定的な財政を維持するためには、より少ない予算でより大きな効果を上げられるよう、事業のやり方を見直すことなどが重要です。
さいたま市では、行財政改革の理念やこれまでの成果を踏まえ、将来にわたっても安定的な財政を維持していくよう、行財政改革に取り組んでいます。

◇もっと詳しく知りたい方は、次の冊子やホームページもご覧ください。

(冊子は区役所の情報公開コーナーで閲覧することができます)

●【予算案の概要】

予算案を発表したときの資料です。

●【さいたま市の財政状況】

予算執行状況や財産状況など市の財政状況を市民の皆様にお伝えする冊子です。毎年6月と12月の年2回発行しています。

※これらの冊子は、ホームページでもご覧になれます。 <http://www.city.saitama.jp/index.html>

(さいたま市役所のトップページから、「市政情報」→「政策・財政」→「予算・決算」または「財政状況」へとお進みください)

この冊子は200部作成し、1部当たりの印刷経費は53円（概算）です。

【さいたま知っ得予算（平成28年度）】

平成28年4月

編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課

TEL 048-829-1153~1155